

石射太郎山・高后山・八良塚 周回 山行報告

【山域・山】房 総

【形 式】ハイキング

【日程天気】2019年3月2日(土)晴れ

【参加者】CL 菅井・清野・吉瀬(記録)

【行 程】石射太郎登山口 7:55－8:10 石射太郎山 8:20－9:15 高后観音 9:35
－高后観音上部－(不動明王経由)高后山 10:15－11:00 八良塚分岐 11:15－八良塚
－金吊 12:00－(休憩)－13:55 森林監視所終点－14:10 石射太郎登山口

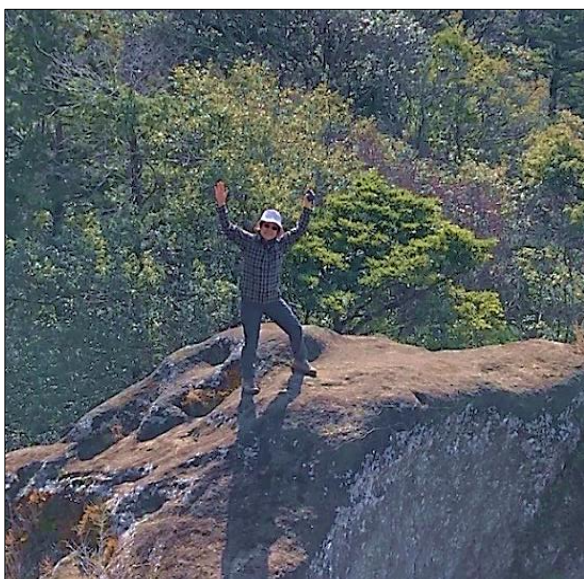
千葉の山も限なく歩いておられるS井さん、千葉の山も大好きで「そろそろスハマソウが咲くころだわ。」とウキウキのS野さんと春の房総丘陵をハイキングしてきました。清和に近づくにつれ梅や桃・椿が咲く田園風景が広がりました。

登山口から石射太郎山は杉林。稜線にでると左手に石射太郎山。正面の遙か彼方に高后山が見えます。途中でお二人が「『樅の木テラス』に寄りましょう。」と。ルートから少し左に逸れると、樅木のある開けた眺めのよい陽だまりに出ました。ここが樅木テラス。

高后観音堂休憩時にS野さんが、「観音堂の上に登れますよ。ちょっと急だけど行ってみますか?」。観音堂から高后山に向かうトンネルを出て左に曲がり、地上 1.5m 直径20センチ位の横たわった倒木の上を渡りながら「周りの小枝を掴めば安心よ。この木の下を通ってもいいし。」とにっこり。小枝を掴み倒木を渡り始めたものの、コ・ワ・イ…。真剣に渡ると次は急な登り。ロープをたよりになんとか登りきって少し進むと展望が開けました。S野さんはその時既に左側の岩の上に。(お転婆さん?)



頂上で反対側から登ってきた方にお会いしました。高后観音堂下の五重の塔の近くの急登を登り、ハイキングしながら分かりにくいところに赤テープを付けているそうです。



高后山頂上直下まで来た時「『不動明王』を登って頂上に登りましょうか。」ということで、『明王』方面に少し下った後、登りは砂岩の角が丸くなった階段。踏み外しそうで私は四つ足歩行で足元ばかり見ていたので左手に祀られている不動明王に気づかず通過してしまいました。高后山山頂で記念撮影後八良塚を目指し、高岩山裏側のロープのある急な下りを下りきった時、S井さん・S野さんがご存知の元会員の方にお会いしました。清和県民の森によくいらっしやるそうで、額の汗を拭きながら、「古いロープもあるので気をつけてくださいね。」と教えてくれました。

三群山分岐で左に曲がり、八良塚分岐で休憩。
金吊を過ぎたところで、お二人がスハマソウを一輪見つけました。1センチほどの白いかわいい花。傍にうすいピンクの蕾が2輪ほど。暫く行くとまた一輪。以前はたくさん咲いていたのに土砂崩れや盗掘で花の数が随分減ってしまったそうです。



森林監視所分岐で森林監視所
終点方向に。森林監視所終点
からは林道。

以前ここを左に曲がって怒田沢
の高后山登山口に出てしまい、
ちょうど通りかかった地元の方が
親切にも石射太郎登山口まで送
ってくださったことを話すと、「正

面の道標は見たのよね。」と優しく尋ねるS野さんに「見たけれど、石射太郎登山口とは書いてなかったので …(ちゃんと石射太郎登山口と書いてある)…見落としました。」私が道に迷った原因は、『道標』を見落としたためだったことが解りました。

林道を20分ほど歩きトンネルを3つ通過し石射太郎登山口
に到着。途中、砂岩と泥岩の縦縞・斜縞・横縞の地層が
あり、S井さんに房総半島の成り立ちについて教えていた
だきました。

下山後、たくさんスハマソウが咲く場所をご存知のS井さんと個人所有の山に立ち寄り、所有者の方のご厚意で、斜面一面に咲くスハマソウを見せていただきました。

お二人のおかげでかわいいスハマソウを知り、メインルート以外の場所を周り、道に迷った原因解明もできました。どうもありがとうございました。

他にもいくつかのコースがあります。石射太郎登山口まで送ってくださった方は毎年お正月にご家族で高后山に登っておられ、別れ際に「またいらしてくださいね。」とってくださいました。

みなさんも、身近な千葉の山をハイクしてみてください。

記 吉瀬



